

学 年	1 年		2 年		3 年		4 年		卒業要件 (40単位)				
系	科目群		科目名(単位)		科目名(単位)		科目名(単位)						
コミュニケーション系(演習系)	ゼミ	基礎ゼミ(2)		教養テーマゼミ(通年4)									
											教養探究ゼミ(2)		
		コンピュータ	コンピュータ処理論A(2)		コンピュータ処理論B(2)								
	スポーツ・健康	個人スポーツ・卓球 I(1) 個人スポーツ・硬式テニス I(1) 個人スポーツ・バドミントン I(1) 個人スポーツ・ゴルフ I(1) 個人スポーツ・フライングディスク I(1) チームスポーツ・バレーボール I(1) チームスポーツ・バスケットボール I(1) チームスポーツ・ソフトボール I(1) チームスポーツ・サッカー I(1) チームスポーツ・カローリング I(1) フィットネス・トレーニング I(1) フィットネス・フィットネス I(1) フィットネス・エアロビクス I(1) シーズンスポーツA・ゴルフ(1) 障害者スポーツ A(1)		個人スポーツ・卓球 II(1) 個人スポーツ・硬式テニス II(1) 個人スポーツ・バドミントン II(1) 個人スポーツ・ゴルフ II(1) 個人スポーツ・フライングディスク II(1) チームスポーツ・バレーボール II(1) チームスポーツ・バスケットボール II(1) チームスポーツ・ソフトボール II(1) チームスポーツ・サッカー II(1) チームスポーツ・カローリング II(1) フィットネス・トレーニング II(1) フィットネス・フィットネス II(1) フィットネス・エアロビクス II(1) シーズンスポーツB・スケート(1) 障害者スポーツ B(1)						2単位			
	外国語基礎	第一外国語	ドイツ語基礎 A(通年2) ドイツ語基礎 B(通年2) ロシア語基礎 A(通年2) ロシア語基礎 B(通年2) フランス語基礎 A(通年2) フランス語基礎 B(通年2) 中国語基礎 A(通年2) 中国語基礎 B(通年2)								4単位		
	外国語演習	英語			英語コミュニケーション I A(2)		英語コミュニケーション II A(2)		英語コミュニケーション I B(2)		英語コミュニケーション II B(2)		左の単位以外で 全学共通科目の いずれかから 18単位
		第二外国語			ドイツ語演習 I(2)		ドイツ語演習 II(2)						
	ソフィア系(講義系)	自然の探究	数学A(2) 数学B(2) 統計学A(2) 統計学B(2) 物理学A(2) 物理学B(2) 化学A(2) 化学B(2) 地学A(2) 地学B(2) 生物学A(2) 生物学B(2)								4単位		
		人間の探究	哲学 A(2) 哲学 B(2) 倫理学A(2) 倫理学B(2) 論理学A(2) 論理学B(2) 心理学(2) 日本史A(2) 日本史B(2) 東洋史A(2) 東洋史B(2) 西洋史A(2) 西洋史B(2) 文学 A(2) 文学 B(2) 言語学A(2) 言語学B(2)								4単位		
社会の探究		日本国憲法(2) 法学(2) 政治学A(2) 政治学B(2) 社会学A(2) 社会学B(2) 経済学 A(2) 経済学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2) 教育学A(2) 教育学B(2)								4単位			
新領域		ジェンダー論A(2) ジェンダー論B(2) 健康科学A(2) 健康科学B(2) 環境科学A(2) 環境科学B(2) 情報科学A(2) 情報科学B(2) 平和論 A(2) 平和論 B(2) 職業と社会(2) グローバルメディア論(2)								4単位			
				異文化研究(2)									
テーマ				教養テーマ講義A(2)		教養テーマ講義B(2)		教養テーマ講義C(2)		教養テーマ講義D(2)			
			中京大学を知る(2)										
			海外教養科目(4)										

全学共通科目について

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されています。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、Webシラバスで各科目の内容を確認して科目を選択し、総合的な知識を身に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いてください。
※履修登録は各自がALBOで行います。
※復学者・編転入学者の履修については、教務課窓口まで申し出てください。

不開講科目／履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに授業担当教員と履修者との合意のうえで、その学期の授業を不開講とすることがあります。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合は、履修者数の制限を行うこともあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員の説明をよく聞いてください。

基礎ゼミ／教養テーマゼミ／教養探究ゼミ

履修希望者は、初回の授業に必ず出席してください。

《履修上の注意》

- ①「基礎ゼミ」は1年生のみ履修登録できる科目です。
※2年生以上の再履修はできません。
- ②「教養テーマゼミ」は1～4年生が履修登録できる科目です。
- ③「教養探究ゼミ」は4年生が秋学期のみ履修登録できる科目です。

スポーツ・健康

スポーツ・健康科目(各1単位)の中から卒業所要単位として2単位を修得しなければなりません。

各学期を通して全ての科目が開講されているとは限りません。

《履修上の注意》

- ①各セメスターともに1科目(1単位)しか履修登録できません(シーズンスポーツを除く)。
- ②各スポーツ・健康科目は履修者数制限を行います。
- ③「I」は春学期、「II」は秋学期の開講科目となります。
- ④「I」と「II」は独立した科目ですが、「I」は基礎的な授業展開を行い、「II」は発展的な授業展開を行います。
したがって、「II」を履修登録する際には同一科目の「I」を修得しておくか、過去に当該科目(スポーツ)と同等の経験を有することが望まれます。
- ⑤「シーズンスポーツA・ゴルフ」は春学期の集中講義期間に行います。履修を希望する場合は、ALBOで履修登録を行った上で、4月上旬の「シーズンスポーツA・ゴルフ」ガイダンスに必ず出席してください。詳細は、3月下旬～4月上旬にALBOにてお知らせします。「シーズンスポーツB・スケート」は豊田キャンパスにて行います(授業時間帯は豊田キャンパスの時間帯)。詳細は、3月下旬～4月上旬にALBOにてお知らせします。
シーズンスポーツのみの履修登録も可能です。
シーズンスポーツは個人スポーツ、チームスポーツ、フィットネスとの同時履修登録が可能です。
- ⑥障害者スポーツA・Bは、身体的な事情によって長期にわたり他のスポーツ種目の履修が困難と考えられる学生を対象とします。医療機関が発行する診断書が必要です。まず、授業担当教員と当該学生との間で日常生活活動能力の程度や実施可能な身体活動について面談します。面談を通じて同意の得られた身体運動を中心に授業の展開方針を決めます。履修希望者は教務課窓口まで申し出を行った後、授業担当教員に履修許可を得てください。

第二外国語

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語が開講されています。

《外国語基礎A・B》

1年生は全員、外国語基礎A・Bを履修しなければなりません。クラスは新1年生ガイダンス内で発表します。

《外国語演習I・IIおよび応用I・II》

外国語演習I・IIおよび応用I・IIを履修する場合は、それに対応した外国語基礎A・Bを両方修得済みか、履修登録をしていなければなりません。履修希望者は必ず初回の授業に出席してください。

第二外国語基礎科目の再履修について

再履修を行う場合は、事前申請が必要です。

詳細はALBOで案内しますので確認してください。

1年生に履修した外国語と同一の外国語でなければなりません。やむを得ない理由で1年生と異なる外国語の履修を希望する場合には、1年生の秋学期の成績が開示されてから、2年生春学期の履修登録開始日までの間に教務課窓口へ申し出てください。期間外の申請は認められません。変更理由やクラス定員の問題により変更が認められない場合もあります。

第三外国語

1年生で履修した第二外国語以外に、2年生以降に第二外国語の中で自分が修得した外国語以外の中から3つ目の外国語を修得して全学共通科目の選択単位として卒業所要単位に算入することができます。

《第三外国語としての外国語基礎A・B》

第三外国語として希望する外国語基礎A・Bを履修する場合は、第二外国語で履修した外国語基礎A・Bの両方を修得済みでなければなりません。

第三外国語の場合は、外国語基礎A・Bいずれか一方でも履修できます。

《第三外国語としての外国語演習I・IIおよび応用I・II》

第三外国語として希望する外国語演習I・IIおよび応用I・IIを履修する場合には、それに対応した第三外国語の外国語基礎AまたはBを修得済みか履修登録していなければなりません。

《履修方法》

第三外国語の履修希望者は、春学期履修登録及び修正期間中に教務課窓口へ申し出てください。

※第三外国語を履修する場合は、授業担当教員の許可が必要です。許可を得ずに履修登録した場合は、単位が認定されません。また希望するクラスの履修者数が多い場合には、履修できないことがあります。

外国語演習(英語)

各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
英語コミュニケーションⅠ	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語コミュニケーションⅡ	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
メディア英語	新聞、雑誌、テレビなどのメディアで使われる英語の理解力向上をはかります。
英語資格対策Ⅰ	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語資格対策Ⅱ	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語セミナー	専門的な英語の運用能力向上を望む学生のニーズに応えるための上級者用集中クラスです。

《履修上の注意》

「英語コミュニケーションⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB」と「英語資格対策ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB」については、それぞれ以下の履修登録上の制限があります。

- ①春学期にⅠAとⅡAを同時に履修登録することはできません。
- ②秋学期にⅠBとⅡBを同時に履修登録することはできません。
- ③ⅡAを修得後、ⅠAを履修登録することはできません。
- ④ⅡBを修得後、ⅠBを履修登録することはできません。

自然の探究／人間の探究／社会の探究／新領域

「〇〇A」と「〇〇B」は独立した科目です。Webシラバスで各科目の内容を確認してください。

海外教養科目

- ①ISEP加盟大学、および中京大学海外交流協定大学へ交換留学生として選抜派遣された学生が留学先大学で修得した単位については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、国際教養学部が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1または3単位などの分割認定も認めます。